

■ 取扱貨物量 年次推移表

年	総取扱貨物量 (トン)	外国貿易			内国貿易		
		計(トン)	輸出(トン)	輸入(トン)	計(トン)	移出(トン)	移入(トン)
昭和30年	7,745,743	2,705,443	852,114	1,853,329	5,040,300	588,231	4,452,069
40年	29,820,934	12,655,127	3,193,290	9,461,837	17,165,807	3,451,740	13,714,067
50年	86,662,970	41,606,097	12,363,233	29,242,864	45,056,873	15,273,639	29,783,234
平成24年	202,555,935	139,498,859	54,827,320	84,671,539	63,057,076	32,930,784	30,126,292
25年	208,241,208	140,611,794	57,982,136	82,629,658	67,629,414	34,931,088	32,698,326
26年	207,621,287	138,184,336	57,694,254	80,490,082	69,436,951	37,764,352	31,672,599
27年	197,979,816	130,993,902	55,236,197	75,757,705	66,985,914	35,227,816	31,758,098
28年	193,256,677	128,475,825	52,713,701	75,762,124	64,780,852	34,093,752	30,687,100

平成 28 年の総取扱貨物量は約 1 億 9,326 万トン（前年比 2.4%減）となり、15 年連続日本一の座を堅持しています。
そのうち外国貿易貨物量は約 1 億 2,848 万トン（前年比 1.9%減）で、17 年連続日本一となっています。



ミニ・ファイル 4

海に浮かぶ巨大な魔法びん LNG 船

名古屋港の輸入貨物 1 位を占める LNG(液化天然ガス)。これは気体である天然ガスを -162℃ で液化し、体積を 1/600 にまで縮小したもの。この LNG を運搬しているのが巨大な LNG 船。低温でも強度が低下しない金属素材で作られたタンクがいくつも並んでいます。

1 隻で約 20 万戸の家庭のガス 1 年分をまかなうことができます。

■ 総取扱貨物量 貨物形態別構成比

貨物形態	貨物量(トン)	構成比
コンテナ貨物	47,939,764	24.8%
バルク貨物	83,788,052	43.4%
完成自動車	61,528,861	31.8%
計	193,256,677	100.0%

名古屋港は、コンテナ貨物（約 25%）、バルク貨物（約 43%）、完成自動車（約 32%）をバランスよく取り扱う総合港湾です。

